

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第98期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	日華化学株式会社
【英訳名】	NICCA CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江守 康昌
【本店の所在の場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理本部副本部長 宮本 和浩
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市文京4丁目23番1号
【電話番号】	(0776)24-0213(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理本部副本部長 宮本 和浩
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第97期 第2四半期連結 累計期間	第98期 第2四半期連結 累計期間	第97期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	15,773,698	15,493,858	30,809,636
経常利益(千円)	655,384	584,804	837,222
四半期(当期)純利益(千円)	324,188	305,452	266,925
四半期包括利益又は包括利益(千円)	288,808	440,441	89,947
純資産額(千円)	12,136,352	12,077,489	11,733,858
総資産額(千円)	33,522,318	33,578,809	32,795,513
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	18.41	17.35	15.16
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	30.7	30.4	30.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	189,107	683,167	354,842
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	836,426	949,212	1,832,886
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	357,376	458,559	945,514
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,100,801	2,996,867	2,794,749

回次	第97期 第2四半期連結 会計期間	第98期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	9.23	8.47

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう、以下同じ。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第97期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

5. 在外子会社等の収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更したため、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動については、化粧品事業において中国にDEMI (BEIJING) INTERNATIONAL TRADING CO., LTD. を設立しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興が進み、緩やかな回復傾向で推移しましたが、米国経済の停滞や欧州の金融不安による円高の長期化等、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進しましたが、売上高は154億9千3百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は6億9百万円（同16.6%減）、経常利益は5億8千4百万円（同10.8%減）、四半期純利益は3億5百万円（同5.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

化学品事業

売上高は123億6百万円（同2.8%減）、セグメント利益は5億6千9百万円（同37.7%減）となりました。

海外では、中国や韓国において繊維加工用機能薬剤が好調に推移しましたが、国内では、自動車関連事業や製紙・情報事業等で、東日本大震災後の回復が遅れ、売上高は減少しました。

化粧品事業

売上高は31億8千7百万円（同7.8%増）、セグメント利益は7億1千6百万円（同26.2%増）となりました。

美容業界は東日本大震災の影響を受けて厳しい状況が続きましたが、デミ コスメティクスにおいてヘアケアシリーズ「フローディア」やスカルプ&ヘアケアシリーズ「ピオーブ」等を新たに投入し、また、「イーラル」ブランドの積極的な事業展開等により、売上高は好調に推移しました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産の取得に伴う支出9億5千6百万円等があったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが6億8千3百万円得られたことや、借入金の増加5億9千4百万円等により、前連結会計年度末に比べ、2億2百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には29億9千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は6億8千3百万円（前年同期は1億8千9百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億9千2百万円、減価償却費6億9千2百万円を計上しましたが、たな卸資産の増加に伴う減少5億4千2百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は9億4千9百万円（前年同期は8億3千6百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果調達した資金は4億5千8百万円（前年同期は3億5千7百万円の調達）となりました。これは主に、借入金の増加及び配当金の支払によるものです。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、8億2千6百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,932,000
計	44,932,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	17,710,000	17,710,000	名古屋証券取引所市場第 二部	単元株式数 1,000株
計	17,710,000	17,710,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	17,710,000	-	2,898,545	-	3,039,735

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
江守商事株式会社	福井県福井市毛矢1丁目6番23号	2,558	14.44
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5番1号	2,338	13.20
日華共栄会	福井県福井市文京4丁目23番1号	1,649	9.31
有限会社江守プランニング	福井県福井市宝永2丁目1番30号	1,444	8.15
日華化学社員持株会	福井県福井市文京4丁目23番1号	823	4.65
江守 康昌	福井県福井市	528	2.98
江守 幹男	福井県福井市	503	2.84
財団法人江守アジア留学生育英会	福井県福井市文京4丁目23番1号	500	2.82
株式会社福井銀行	福井県福井市順化1丁目1番1号	344	1.94
宗教法人妙見山歓喜寺	福井県南条郡南越前町清水51-1-2	338	1.91
計	-	11,029	62.24

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 108,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,476,000	17,476	-
単元未満株式	普通株式 126,000	-	-
発行済株式総数	17,710,000	-	-
総株主の議決権	-	17,476	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
日華化学株式会社	福井市文京4丁目23番1号	108,000	-	108,000	0.61
計	-	108,000	-	108,000	0.61

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,965,994	3,123,195
受取手形及び売掛金	7,000,248	7,102,300
商品及び製品	2,327,550	2,782,507
仕掛品	325,718	369,850
原材料及び貯蔵品	2,425,126	2,499,663
その他	976,651	846,022
貸倒引当金	47,211	48,870
流動資産合計	15,974,078	16,674,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,373,592	5,280,475
機械装置及び運搬具(純額)	2,240,480	2,123,240
土地	6,165,795	6,165,482
その他(純額)	494,193	747,371
有形固定資産合計	14,274,062	14,316,569
無形固定資産		
のれん	4,581	5,803
その他	565,387	538,128
無形固定資産合計	569,969	543,931
投資その他の資産	1,977,403	2,043,639
固定資産合計	16,821,435	16,904,140
資産合計	32,795,513	33,578,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,462,836	3,484,105
短期借入金	7,550,963	7,437,321
未払法人税等	75,601	79,010
賞与引当金	430,000	394,000
その他	1,738,552	1,507,483
流動負債合計	13,257,954	12,901,922
固定負債		
長期借入金	4,705,695	5,423,402
退職給付引当金	2,290,557	2,252,961
その他	807,447	923,033
固定負債合計	7,803,700	8,599,397
負債合計	21,061,655	21,501,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,168	3,040,169
利益剰余金	6,248,904	6,466,348
自己株式	44,894	45,102
株主資本合計	12,142,722	12,359,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,304	59,041
為替換算調整勘定	2,269,125	2,209,300
その他の包括利益累計額合計	2,199,821	2,150,259
少数株主持分	1,790,956	1,867,788
純資産合計	11,733,858	12,077,489
負債純資産合計	32,795,513	33,578,809

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	15,773,698	15,493,858
売上原価	10,505,466	10,508,942
売上総利益	5,268,231	4,984,916
販売費及び一般管理費	₁ 4,537,406	₁ 4,375,444
営業利益	730,825	609,472
営業外収益		
受取利息	6,286	4,844
受取配当金	15,853	13,698
負ののれん償却額	3,385	1,308
持分法による投資利益	59,637	66,983
その他	115,578	98,023
営業外収益合計	200,741	184,858
営業外費用		
支払利息	79,714	83,345
為替差損	128,763	45,839
その他	67,704	80,340
営業外費用合計	276,182	209,525
経常利益	655,384	584,804
特別利益		
固定資産売却益	4,598	699
特別利益合計	4,598	699
特別損失		
固定資産除却損	11,249	7,982
固定資産売却損	40,569	391
投資有価証券評価損	13,335	-
出資金評価損	4,876	-
ゴルフ会員権評価損	-	1,310
減損損失	₂ 36,588	₂ 20,260
災害による損失	-	63,255
特別損失合計	106,620	93,199
税金等調整前四半期純利益	553,362	492,304
法人税等	122,594	101,425
少数株主損益調整前四半期純利益	430,768	390,879
少数株主利益	106,579	85,427
四半期純利益	324,188	305,452

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	430,768	390,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,309	10,263
為替換算調整勘定	125,650	59,825
その他の包括利益合計	141,959	49,561
四半期包括利益	288,808	440,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,228	355,014
少数株主に係る四半期包括利益	106,579	85,427

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	553,362	492,304
減価償却費	455,225	692,786
減損損失	36,588	20,260
災害による損失	-	63,255
負ののれん償却額	3,385	1,308
投資有価証券評価損	13,335	-
出資金評価損	4,876	-
ゴルフ会員権評価損	-	1,310
退職給付引当金の増減額(は減少)	39,409	38,312
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	169,940	-
賞与引当金の増減額(は減少)	4,500	36,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,342	895
受取利息及び受取配当金	22,139	18,542
支払利息	79,714	83,345
為替差損益(は益)	16,729	18,531
持分法による投資損益(は益)	59,637	66,983
固定資産処分損益(は益)	47,221	7,673
売上債権の増減額(は増加)	436,526	61,873
たな卸資産の増減額(は増加)	501,833	542,466
仕入債務の増減額(は減少)	345,246	4,140
未払消費税等の増減額(は減少)	87,176	21,877
その他	239,453	121,132
小計	483,547	723,173
利息及び配当金の受取額	89,950	151,991
利息の支払額	78,027	85,550
法人税等の支払額	306,362	106,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	189,107	683,167
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	48,349	-
定期預金の払戻による収入	48,269	44,521
有形固定資産の取得による支出	799,435	956,108
有形固定資産の売却による収入	58,794	1,217
投資有価証券の取得による支出	6,795	6,925
投資有価証券の売却による収入	-	11
その他	88,910	31,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	836,426	949,212

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	19,645,465	17,318,586
短期借入金の返済による支出	20,037,997	16,522,111
長期借入れによる収入	1,650,000	1,761,120
長期借入金の返済による支出	637,248	1,963,017
配当金の支払額	175,700	87,591
少数株主への配当金の支払額	85,504	48,219
自己株式の売却による収入	-	18
自己株式の取得による支出	1,638	224
財務活動によるキャッシュ・フロー	357,376	458,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	131,884	9,603
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	421,826	202,117
現金及び現金同等物の期首残高	3,522,627	2,794,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,100,801	2,996,867

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、DEMI (BEIJING) INTERNATIONAL TRADING CO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準の変更) 在外子会社等の収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算しております。 この変更は、在外子会社等の収益及び費用の重要性が増し、為替相場の変動が連結財務諸表に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。 この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は16,490千円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は86,646千円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高は、同額減少しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)																	
1	貸倒引当金2,971千円を直接控除しております。	1	貸倒引当金134千円を直接控除しております。																
2	保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。	2	保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保証先</th> <th colspan="2">保証金額</th> </tr> <tr> <th>外貨額 (千)</th> <th>円換算額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>徳亜樹脂股フン有限公司</td> <td>NT\$ 6,750</td> <td>19,058</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	保証金額		外貨額 (千)	円換算額 (千円)	徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$ 6,750	19,058		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保証先</th> <th colspan="2">保証金額</th> </tr> <tr> <th>外貨額 (千)</th> <th>円換算額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>徳亜樹脂股フン有限公司</td> <td>NT\$ 9,250</td> <td>23,276</td> </tr> </tbody> </table>	保証先	保証金額		外貨額 (千)	円換算額 (千円)	徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$ 9,250	23,276
保証先	保証金額																		
	外貨額 (千)	円換算額 (千円)																	
徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$ 6,750	19,058																	
保証先	保証金額																		
	外貨額 (千)	円換算額 (千円)																	
徳亜樹脂股フン有限公司	NT\$ 9,250	23,276																	
3	受取手形割引高 7,109千円 受取手形裏書譲渡高 16,573千円	3	受取手形割引高 4,668千円 受取手形裏書譲渡高 29,709千円																

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)													
1	販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。 役員報酬及び給料 1,149,140千円 賞与引当金繰入額 230,697千円 退職給付引当金繰入額 61,561千円 貸倒引当金繰入額 7,342千円 役員退職慰勞引当金繰入額 2,820千円	1	販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。 役員報酬及び給料 1,180,020千円 賞与引当金繰入額 180,041千円 退職給付引当金繰入額 69,480千円 貸倒引当金繰入額 2,463千円												
2	減損損失 当第2四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福井県福井市</td> <td>操業停止の工場等</td> <td>建物及び構築物等</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、減損会計の適用に当たって、報告セグメント(化学品、化粧品)を基礎としてグルーピングし、遊休資産については個々の資産ごとに、減損の兆候を判定しております。</p> <p>当第2四半期連結累計期間において、操業を停止した工場等に係る建物及び構築物等について遊休資産にグルーピングを行い、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額36,588千円を減損損失として特別損失に計上しました。</p> <p>なお、当該資産の回収可能価額は主として使用価値より測定しており、その価値を零としております。</p>	場所	用途	種類	福井県福井市	操業停止の工場等	建物及び構築物等	2	減損損失 当第2四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福井県越前市</td> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、減損会計の適用に当たって、報告セグメント(化学品、化粧品)を基礎としてグルーピングし、遊休資産については個々の資産ごとに、減損の兆候を判定しております。</p> <p>当第2四半期連結累計期間において、事業の用に供していない遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額20,260千円を減損損失として特別損失に計上しました。</p> <p>なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、固定資産税評価額をもとに実勢価格を加味して評価しております。</p>	場所	用途	種類	福井県越前市	遊休資産	土地
場所	用途	種類													
福井県福井市	操業停止の工場等	建物及び構築物等													
場所	用途	種類													
福井県越前市	遊休資産	土地													

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) (千円)		現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	3,393,223	現金及び預金勘定	3,123,195
預入期間が3か月を超える 定期預金	292,421	預入期間が3か月を超える 定期預金	126,328
現金及び現金同等物	3,100,801	現金及び現金同等物	2,996,867

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	176,064	10	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	88,011	5	平成22年9月30日	平成22年12月13日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	88,007	5	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	88,005	5	平成23年9月30日	平成23年12月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,662,734	2,955,897	15,618,632	155,066	15,773,698
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,053	-	5,053	10,505	15,558
計	12,667,788	2,955,897	15,623,685	165,572	15,789,257
セグメント利益又は損失()	915,163	567,803	1,482,966	22,897	1,460,069

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額的主要な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,482,966
「その他」の区分の利益	22,897
セグメント間取引消去	11,744
のれんの償却額	318
全社費用(注)	741,307
四半期連結損益計算書の営業利益	730,825

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化学品」セグメントにおいて、操業を停止した工場等に係る建物及び構築物等について遊休資産にグルーピングを行い、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、36,588千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	12,306,138	3,187,719	15,493,858	15,493,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,104	13,594	18,699	18,699
計	12,311,243	3,201,314	15,512,557	15,512,557
セグメント利益	569,928	716,605	1,286,534	1,286,534

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,286,534
セグメント間取引消去	8,127
のれんの償却額	2,395
全社費用（注）	687,585
四半期連結損益計算書の営業利益	609,472

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の測定方法の変更）

在外子会社等の収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算しております。この変更は、在外子会社等の収益及び費用の重要性が増し、為替相場の変動が経営管理情報に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に経営管理情報に反映させるために行ったものであります。この変更に伴い、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の算定方法を変更し、前第2四半期連結累計期間の金額を修正再表示しております。

（セグメントの区分方法の変更）

従来、「その他」に区分しておりました医薬品事業等につきましては、平成23年3月31日をもって事業撤退しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

四半期連結損益計算書上の減損損失20,260千円は、全社資産である遊休資産に係るものであり、報告セグメントに配分された固定資産の減損損失はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円41銭	17円35銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	324,188	305,452
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	324,188	305,452
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,604	17,601

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・88,005千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・5円00銭

(ハ) 支払い請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成23年12月12日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月9日

日華化学株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂下 清司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日華化学株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日華化学株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。